

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

昭和57年2月17日 第43報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Chroococcus</i> sp.*	20		
(藍) <i>Merismopedia tenuissima</i> *	20		
(黄鞭) <i>Chrysosphaerella</i> sp.	180		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	40		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	240	◎	○
(珪) <i>Navicula</i> sp.	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	40		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	220	○	◎
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	20		
(他) その他の植物プランクトン	40		
(藍) 藍藻綱	40	4.4	1.4
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	200	22.2	3.2
(珪) 珪藻綱	360	40.0	21.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	2.2	4.8
(褐) 褐色鞭毛藻綱	220	24.4	68.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	20	2.2	0.3
(他) その他のプランクトン	40	4.4	0.0
総細胞数	900	総体積	5.43E+05
種類数	13	( $\mu\text{m}^3$ )	

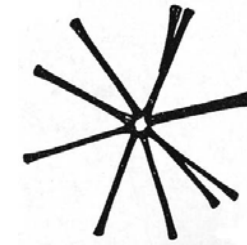
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし \* 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Asterionella formosa</i>	240

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
褐色鞭毛藻綱	<i>Cryptomonas</i> sp.	220

植物プランクトン第1優占種



***Asterionella formosa***  
(ホシガタケイソウ)  
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。

植物プランクトン第2優占種



***Cryptomonas* sp.**  
(クリプトモナス)  
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんで消化道を形成している。等長の2本の鞭毛を持つ。通常2個の大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、赤色、赤褐色などさまざまである。